可動間仕切収納

セフィット
可動間仕切収納
【スタンダードタイプ】本体

施工説明書

- 作業開始前に、この施工説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- カスタムパーツをご注文の場合、別紙「カスタムパーツ 施工説明書」もあわせてお読みください。

もくじ

確認事項	表紙
1.製品構成図	1
2.部材・部品表	2
3.製品寸法図・納まり参考図	3
4.組み立て	4
5.据え付け	12
6.施工後の確認	16

安全に関するご注意

収納ユニット本体の組み立ては、必ず２人以上で行ってください。

施工時のご注意

- 開梱後、施工前に部材・部品に損傷等がないかどうかご確認ください。組み立ててからの部品の交換は、お受けできない場合があります。
- 付属の部品以外の部品を使用して組み立てないでください。
- 作業は必ず手回しのドライバーで行ってください。組立金具等の破損の原因となりますので、電動ドライバーは使用しないでください。
- 設置前に長時間部材を立てかけたりすると、部材が反る恐れがあります。
- 組み立てる前に、棚板以外に貼っている部材シール（下図参照）をはがしてください。（ゆっくりはがすと、きれいにはがれます）
- 側板と仕切板の「上」シールは組立後にはがしてください。

部材ＩＤ：#000000　ＱＲコード
部材名称
W/H
D
T

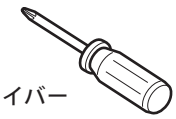
この絵表示は必ず実行していただく「強制内容」を示します

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをされた場合、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、または、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

お願い

施工後、この施工説明書と取扱説明書を
必ずお客様にお渡しください

使用工具

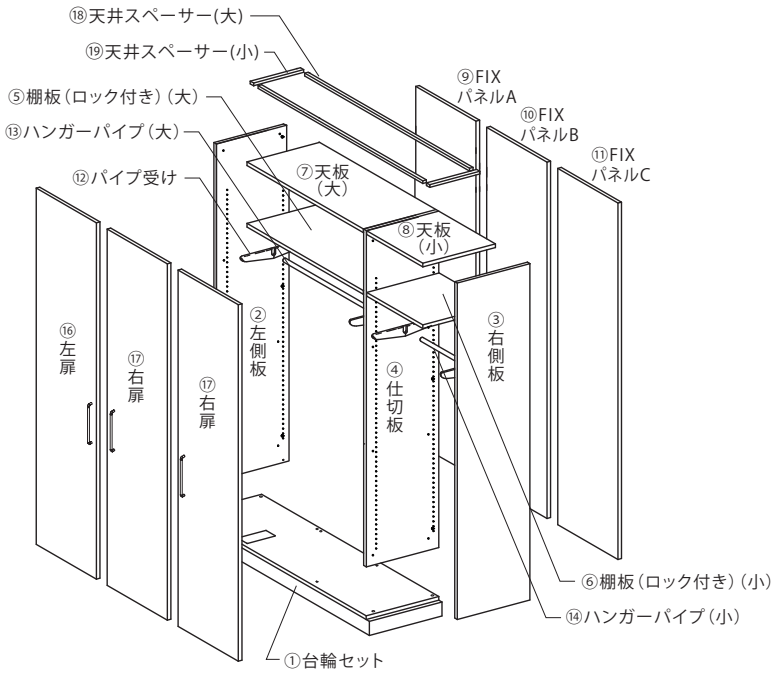

⊕ドライバー

はさみ

1　製品構成図

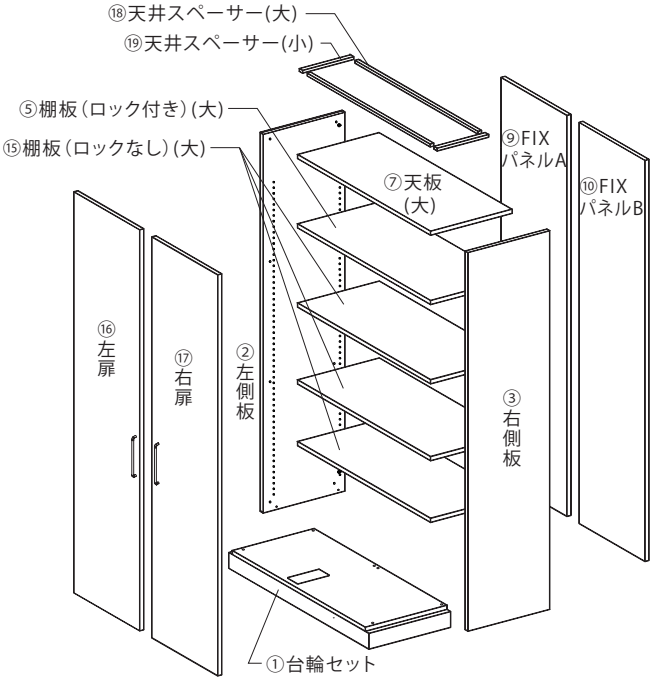
棚・パイプセット

◆ MP2-H1005／MP2-H1505 (下図) ／MP2-H2005



棚セット

◆ MP2-S1005



2 部材・部品表

部材表	棚パイプセット			棚セット
	MP2-H1005	MP2-H1505	MP2-H2005	MP2-S1005
① 台輪セット	1 (ジャッキアップハンドル付)			
② 左側板	1	1	1	1
③ 右側板	1	1	1	1
④ 仕切板	—	1	1	—
⑤ 棚板(ロック付き)(大)	1	1	2	1
⑥ 棚板(ロック付き)(小)	—	1	—	—
⑦ 天板(大)	1	1	2	1
⑧ 天板(小)	—	1	—	—
⑨ FIXパネルA	1	1	2	1
⑩ FIXパネルB	1	1	2	1
⑪ FIXパネルC	—	1	—	—
⑫ パイプ受け	1組	2組	2組	—
⑬ ハンガーパイプ(大)	1	1	2	—
⑭ ハンガーパイプ(小)	—	1	—	—
⑮ 棚板(ロックなし)(大)	—	—	—	3
⑯ 左扉	1	1	2	1
⑰ 右扉	1	2	2	1
⑱ 天井スペーサー(大)	2	2	2	2
⑲ 天井スペーサー(小)	2	2	2	2

部品表	棚パイプセット			棚セット
	MP2-H1005	MP2-H1505	MP2-H2005	MP2-S1005
1 連結シャフト *	14	20	24	14
2 シャフトB * (φ5穴用)	4	10	10	4
3 シャフトA *	4	8	8	16
4 スライド蝶番座金	6	9	12	6
5 蝶番穴キャップ(※) *	12	18	24	12
6 センサー式耐震ロック本体	2	3	4	2
7 センサー式耐震ロック受け	2	3	4	2
8 耐震ロック固定ビス *	8	12	16	8
9 締付金具カバー *	8	18	18	8
10 パイプ受け取付ねじ *	4	8	8	—
11 スライド蝶番	6	9	12	6
12 蝶番取付ビス *	12	18	24	12
13 フェルト戸当たり *	4	6	8	4
14 取手	2	3	4	2
15 取手取付ねじ	4	6	8	4
16 戸当たりダンパー	2	3	4	2
17 本体連結金具(ボルト・ナット)	8組	8組	8組	8組
18 本体連結キャップ	16	16	16	16
19 穴隠しキャップ(10φ)	32	32	32	32

内の部品は組み立て時に使用しなくても、
可動時にお客様が使用されるものです。
組み立て後も大切に保管してください。

* 印：ブロックパック梱包（使用順に区切られ、連続して袋詰めされています）
※印：オプションA（扉なし）をお選びいただいた場合のみセットに含まれます

【ご注意】

オプションH（ハンガーパイプなし）やオプションG（本体連結穴追加）など、ご注文時に選択されたオプションにより一部部材・部品の員数が異なります。
同封されている姿図か、ダンボールのラベルに記載されている品番をご確認ください。

■ 品番体系

M P 2 — H B 1 0 0 5 (A) K 1 5 (W D)

形式名

セット記号	
H	棚・パイプセット
S	棚セット
W	ダブルシェルフ

調整パネル	
未記入	なし
B	あり

間口	
1 0	W700～960(2枚扉)
1 5	W961～1400(3枚扉)
2 0	W1401～1900(4枚扉)

奥行	
0 5	D508(560)

オプション	
未記入	なし
(A)	扉なし
(H)	ハンガーパイプなし
(G)	連結穴追加

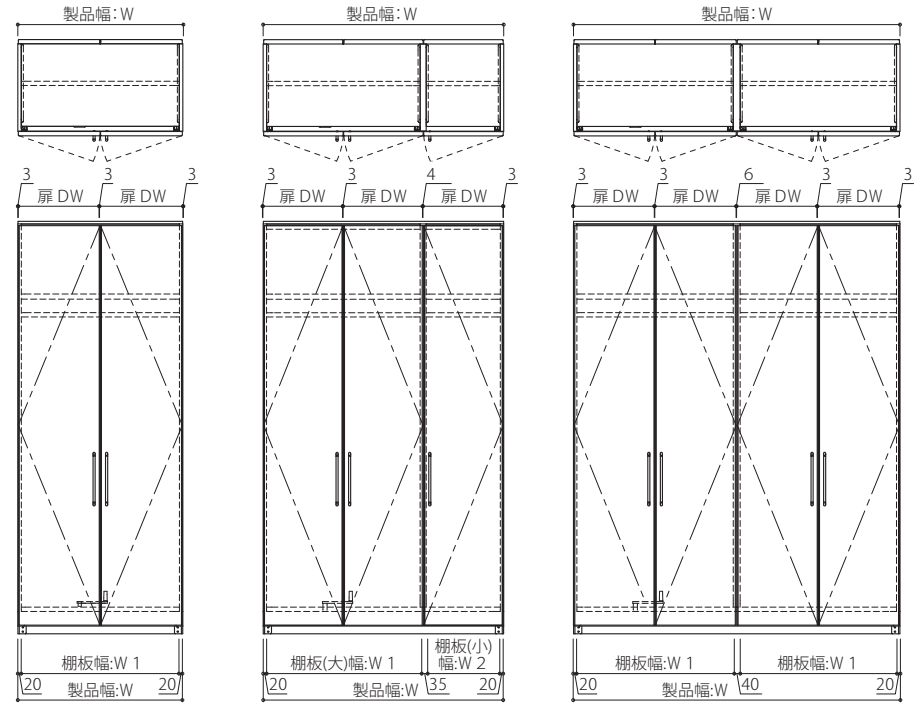
取手	
未記入	標準取手
K 1 5	角型(P=150)

扉色・FIXパネル色	
W D	クリアホワイト
C L 1	コンフォールライト

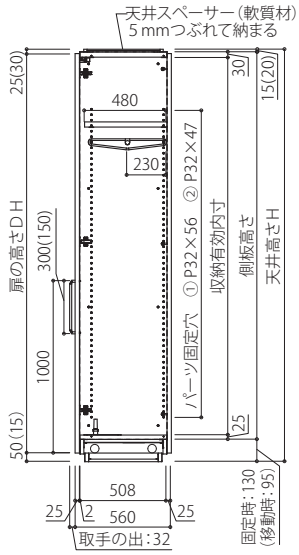
3 製品寸法図・納まり参考図

◆ 製品寸法図

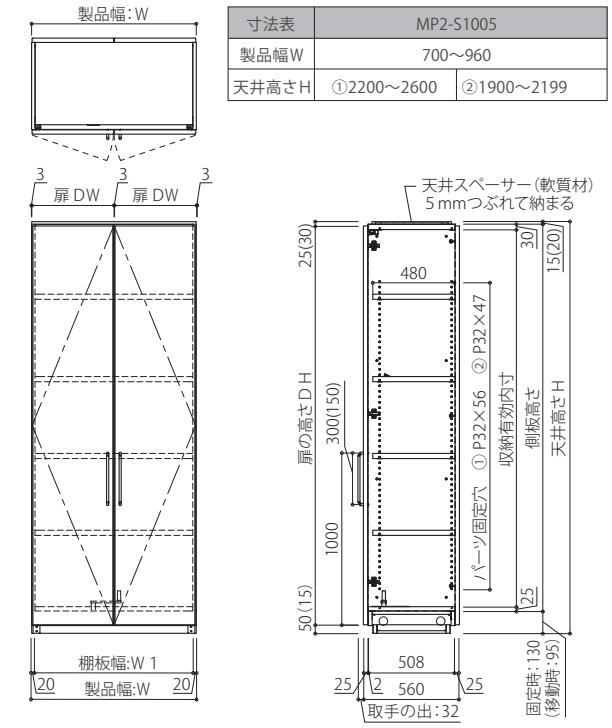
棚・パイプセット



寸法表	MP2-H1005	MP2-H1505	MP2-H2005
製品幅W	700～960	961～1400	1401～1900
天井高さH	①2200～2600		②1900～2199

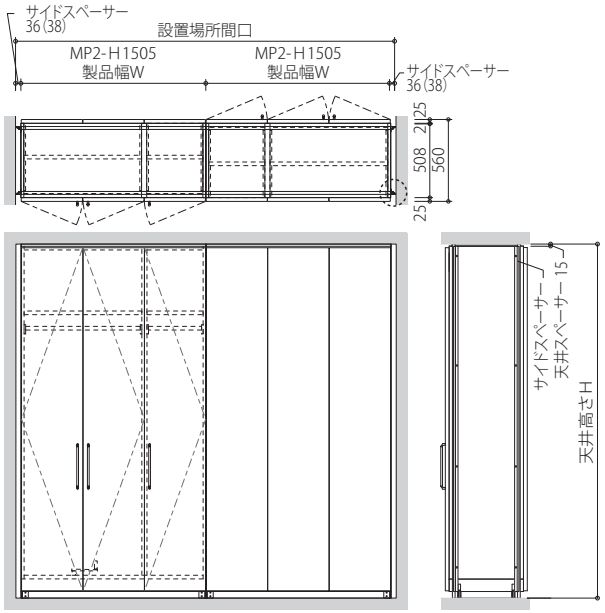


棚セット



寸法表	MP2-S1005	
製品幅W	700～960	
天井高さH	①2200～2600	②1900～2199

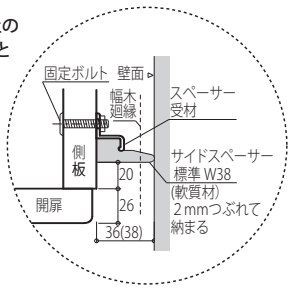
◆ 納まり参考図　完全間仕切　MP2-H1505×2 台の場合



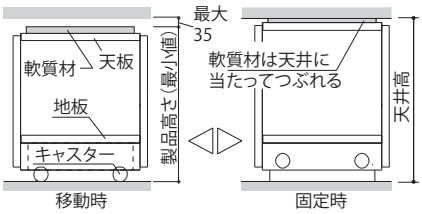
【壁と天井の納まりについて】

- 壁～壁間に間仕切として設置する場合、サイドスペーサーで左右壁面との隙間を調整します。
- サイドスペーサーは軟質材です。壁と本体とのスキマ調整や巾木等をある程度吸収することができます。(標準片側2㎜)

※ サイドスペーサーはオプションです。



可動間仕切収納は製品高さを35㎜昇降させることができますが、これは施工時や収納本体の移動時に必要なクリアランスです。天井高さの施工誤差を吸収できる範囲は、注文寸法±3㎜程度となります。それ以上の寸法誤差には対応できませんのでご注意ください。



4 組み立て

はじめに
部品の確認

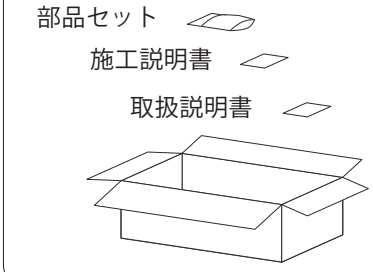
はじめに金物セットの梱包を開けてください。

組み立てに必要な
- □ 部品セット
- □ 施工説明書

が同梱されています。

※取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

◆ 金物セット梱包

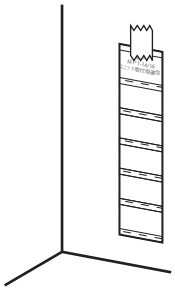


◆ ブロックパック梱包

部品表で部品名横に * 印がついたものは、使用順に区切られ、連続した袋に詰められています（これをブロックパックといいます）。

組み立ての際、ブロックパックは下から順番に開けて使用してください。

使用順①

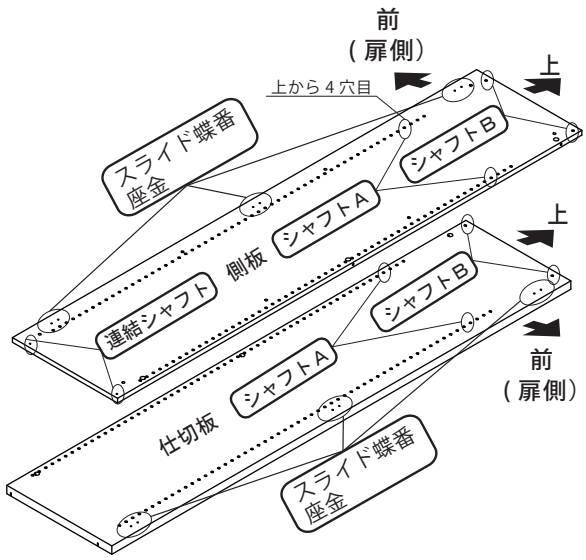


壁養生材等にテープで貼って下げて使うと便利です。

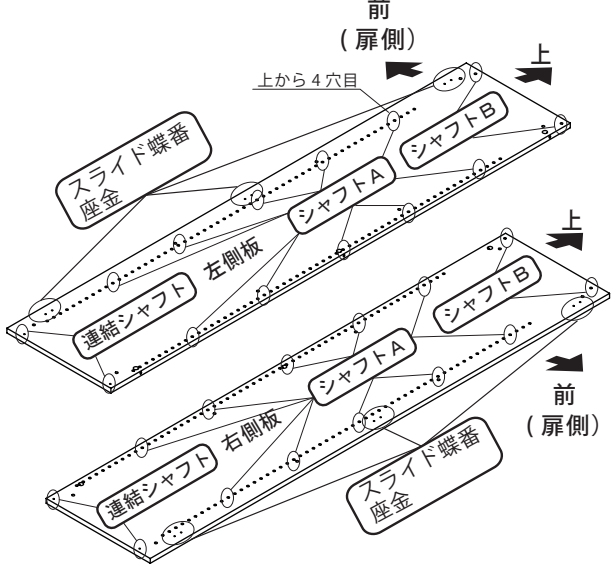
4-1 側板・仕切板に部品を取り付ける

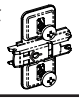
側板・仕切板の加工穴に金物を取り付けてください。

棚・パイプセット



棚セット



使用部品	連結シャフト	シャフトB	シャフトA	スライド蝶番座金
				

Point

このとき内部パーツの部品も付けておくとスムーズです

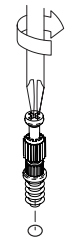
金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

⚠注意 しっかり締める

連結シャフト

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

右回し



⚠ ネジ頭の破損に注意

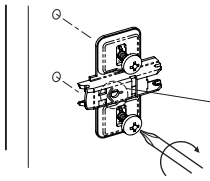
シャフトB

⊕ドライバーでしっかり締め付ける。

右回し

⚠ ネジ頭の破損に注意

スライド蝶番座金

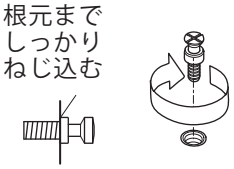


矢印が前
（中央の刻印）

座金にセットした樹脂ブッシュを側板（仕切板）の穴に根元まで押し込み、ビスを締め付ける

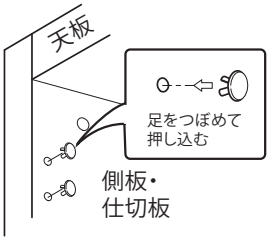
シャフトA

根元までしっかりねじ込む



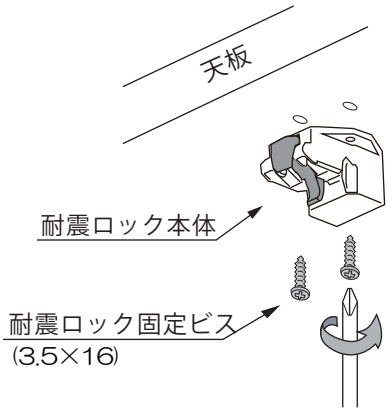
オプションA（扉なし）の場合

使用部品	蝶番穴キャップ



4-2 天板に耐震ロックを取り付ける

天板裏面の小孔に耐震ロック本体を
ビスで固定してください。



使用部品	耐震ロック本体	耐震ロック固定ビス (φ3.5×16)

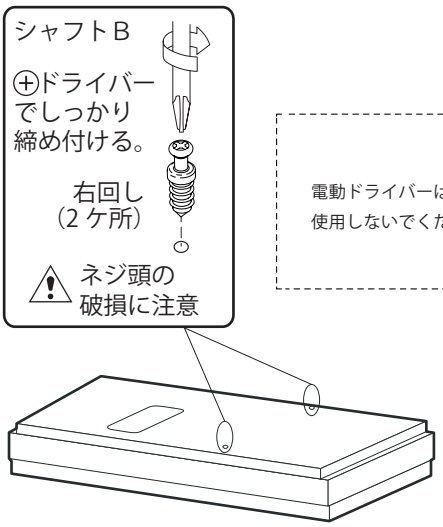
締め付けが不十分な場合
通常の開閉に支障をきたし
たりロック機構が正常に動
かなくなる恐れがあります。

⚠注意
しっかり締め付ける

4-3 台輪に部品を取り付ける

3枚扉・4枚扉の時のみ

使用部品	シャフトB

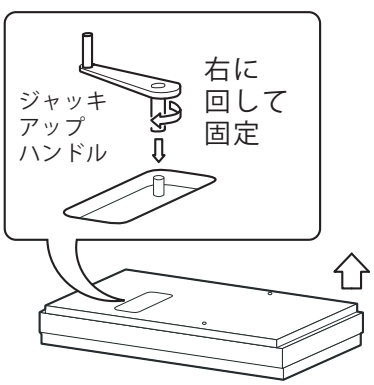


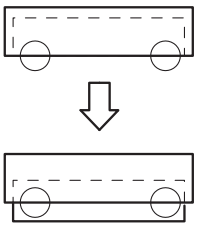
電動ドライバーは
使用しないでください。

⚠注意
しっかり締め付ける

4-4 台輪セットの固定

組み立て中に本体が動いてしまわないように
固定状態にしておいてください。



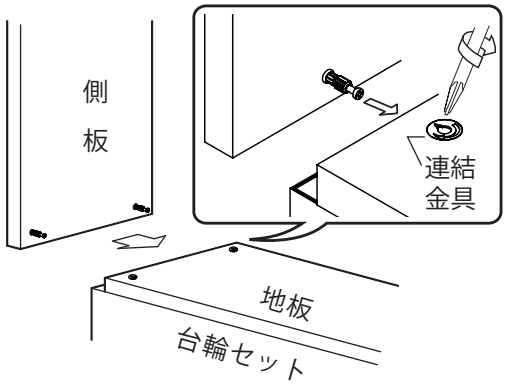


動かないように上げる

※上げすぎると天板を取り付けにくくなる
場合がありますのでご注意ください。

4-5 側板・仕切板を取り付ける

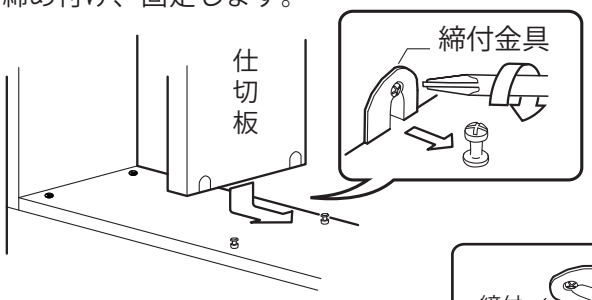
側板に取り付けた連結シャフトを、
地板の連結金具に差し込み、
⊕ドライバーで右に回して
締め付けて固定します。



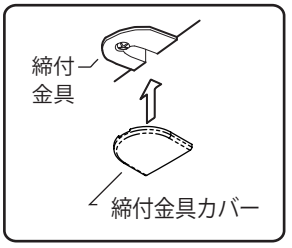
地板に取り付けたシャフトBに、
仕切板の締付金具を差し込み、
⊕ドライバーで右に回して
締め付け、固定します。

使用部品	締付金具カバー

⚠注意
しっかり締め付ける



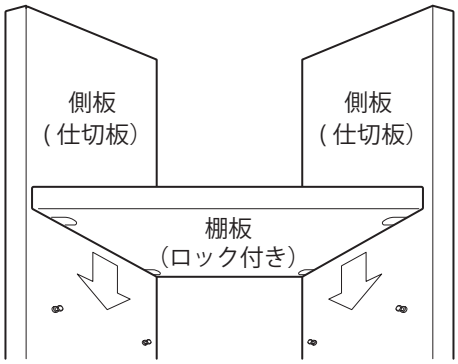
取り付け後、締付金具カバーを
取り付けてください。

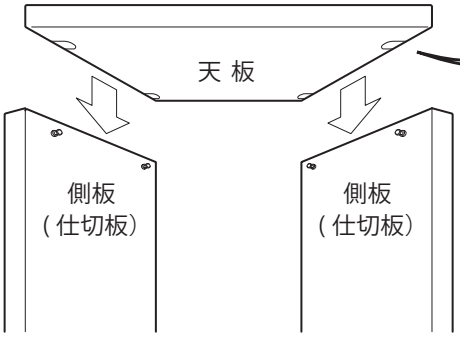


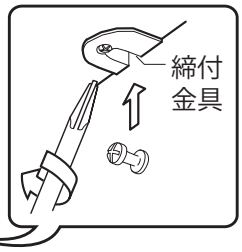
4-6 棚板（ロック付き）・天板を取り付ける

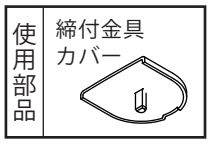
側板（仕切板）に取り付けたシャフトAに
棚板（ロック付き）・天板の締付金具をはめ込み、
⊕ドライバーで右に回して締め付け、固定します。

棚板・天板どちらから
でも取り付けできます。



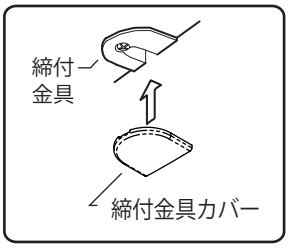






金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

取り付け後、締付金具カバーを取り付けてください。

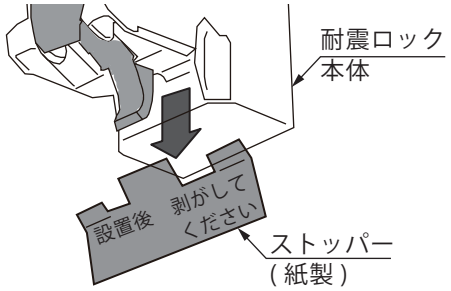


4-7 耐震ロックの作動確認

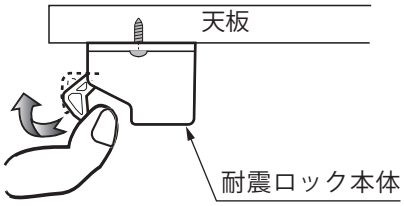
天板固定後、ロック部分が動くかどうか、必ず確認してください。

「4-12 扉を取り付ける」の前に、必ずストッパーを剥がしてください。そのまま使用すると耐震ロックが破損する恐れがあります。

1）ストッパーをはがしてください。



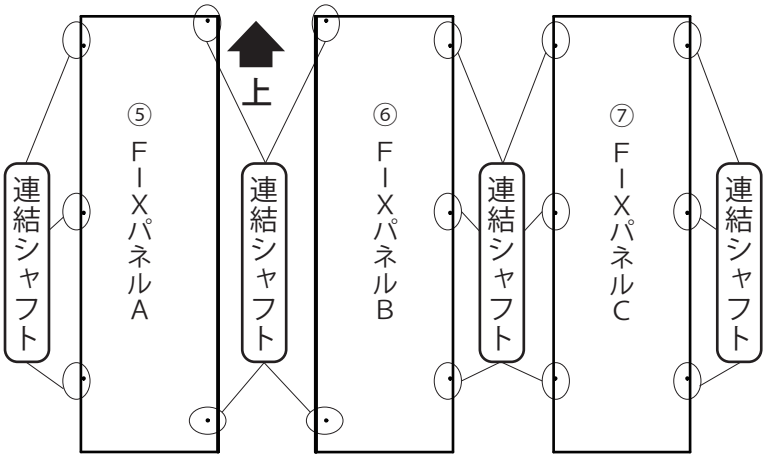
2）ロック部分が動くかどうか
確認してください。



耐震ロック本体と収納ユニットの水平・垂直が出ているにも関わらず動きが悪い場合は、一旦外して水平な台の上に置いてロック部分を指で動かし、作動するかどうかをご確認ください。
作動しない場合は、
お手数ですが、お問い合わせください。

4-8 FIX パネルに部品を取り付ける

ＦＩＸパネルの加工穴に金物を取り付けてください。

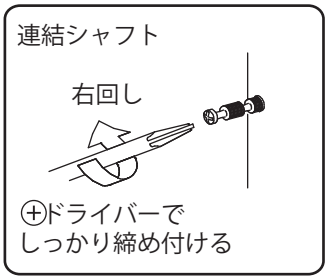


使用部品	連結シャフト

金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

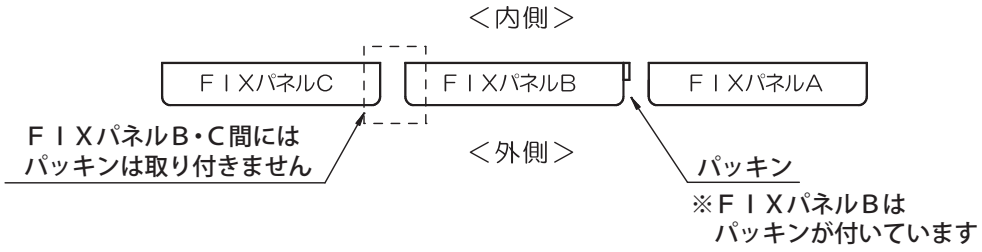
注意 しっかり締める

⚠ ネジ頭の破損に注意

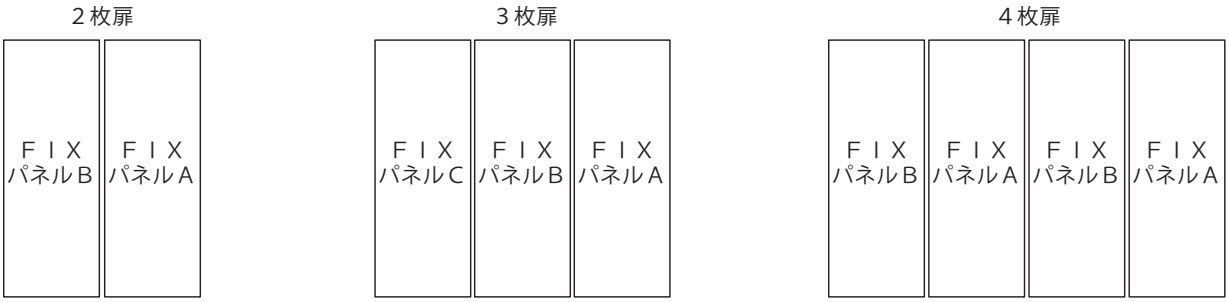


4-9 FIXパネルを取り付け順を確認する

ＦＩＸパネルＢを先に取り付けてください。



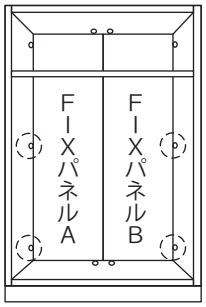
＜外側から見た場合＞

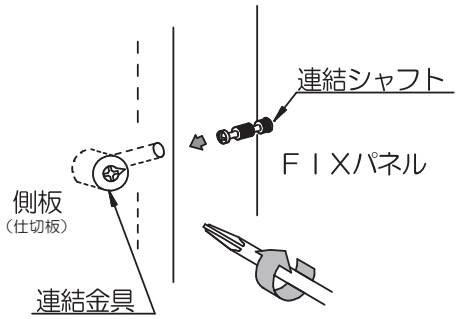


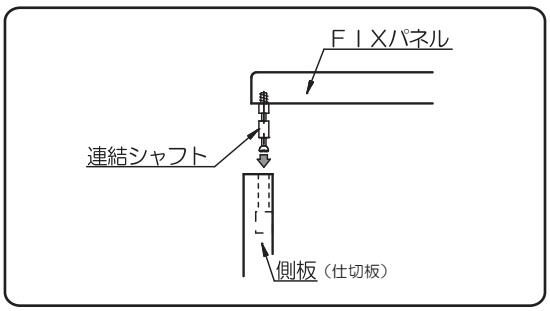
4-10 FIXパネルを取り付ける

1）ＦＩＸパネルの取り付け前に
締め付け金具の矢印が、
側板の外側に向いているか確認してください。

2）両開き部のFIXパネルＢの連結シャフトを
側板（仕切板）の連結金具に差し込んで
中心と下の部分を⊕ドライバーで仮止めしてください。
ＦＩＸパネルＡも同様に仮止めしてください。

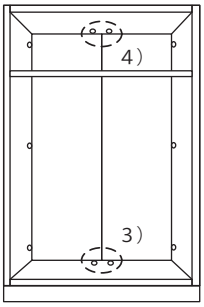


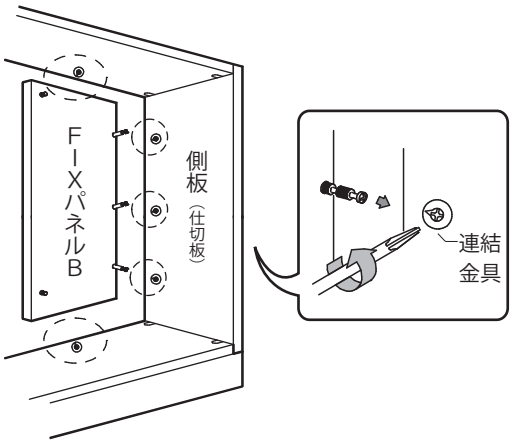




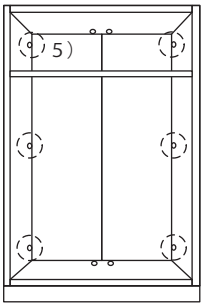
3）ＦＩＸパネルＡ・Ｂのパッキンを合わせて、下部の連結シャフトを
台輪の連結金具に後ろから押し込めながら取り付けます。

4）同様に上部の連結シャフトも天板の連結金具に取り付けます。
（天板を少し押し上げながらはめるとスムーズに取り付けやすいです。）





5）連結金具をすべて固定してください。



金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊や棚板の落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

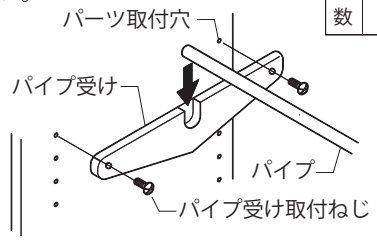
4-11 内部パーツを取り付ける

◆ ハンガーパイプの取り付け

1）パーツ取付穴にパイプ受けを取付ビスで固定してください。

2）パイプをパイプ受けにセットしてください。

部材・部品	パイプ	パイプ受け	パイプ受け取付ねじ なべ小ねじ M6×14
数	1	2	4



カチッと音がして
しっかりはまったことを
確かめてください。

金具の締め付けが不十分な場合、収納ユニット本体や収納物の損壊やパイプの落下によるケガの恐れがあり大変危険です。

注意
しっかり締める

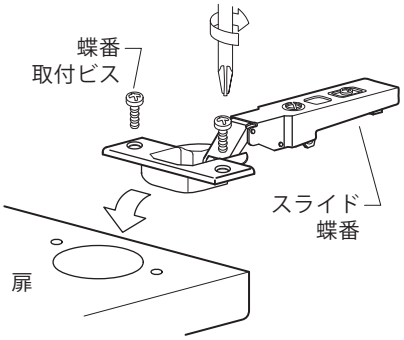
※カスタムパーツをご注文の場合、別紙「カスタムパーツ 施工説明書」もあわせてお読みください。

4-12 扉に部品を取り付ける

◆蝶番の取り付け

1）カップホールに蝶番を奥まで押し込んでください。

2）蝶番取付ビスをしっかりと締めてください。



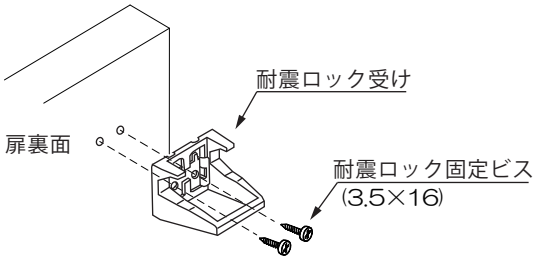
使用部品	スライド蝶番	蝶番 取付ビス

注意
しっかり締め付ける

◆耐震ロックの取り付け

1）扉の裏面の小孔に耐震ロック受けをビスで固定してください。

使用部品	耐震ロック 受け	耐震ロック 固定ビス (φ3.5×16)

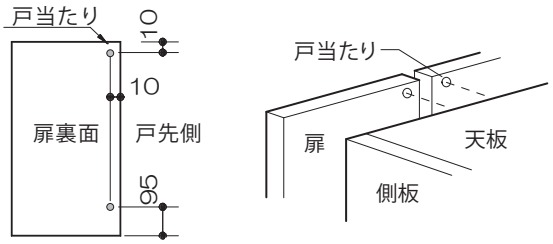


注意
しっかり締め付ける

◆戸当たりの取り付け

扉の裏面の天・地板が当たる戸先部分に戸当たりを（4 ヶ所）取り付けてください。

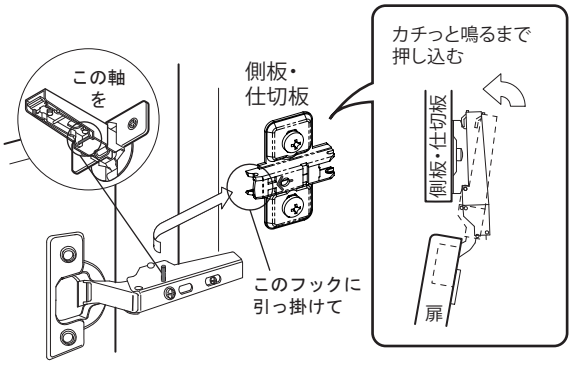
使用部品	フェルト 戸当たり



4-13 扉を取り付ける

◆扉の吊り込み

1) 蝶番を開いた状態で座金に取り付けてください。
2) 蝶番裏側の軸を座金のフックに引っ掛けます。
3) 蝶番奥側をカチっと鳴るまで座金に押し込み、扉を取り付けます。

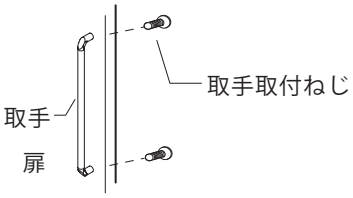


注意
必ず確認する

扉を取り付ける前に、耐震ロック本体のストッパーを剥してください。
蝶番が座金にしっかり固定されているかどうか、扉を開閉して確認する。

◆取手の取り付け

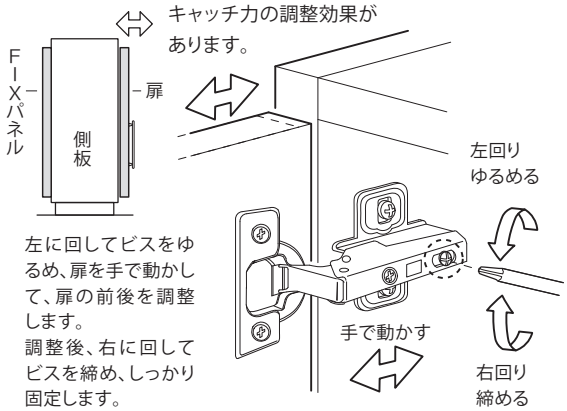
扉裏面の取手取り付け用穴を貫通させた後、リード孔に合わせて取手を付けてください。



使用部品	取手	取手取付ねじ

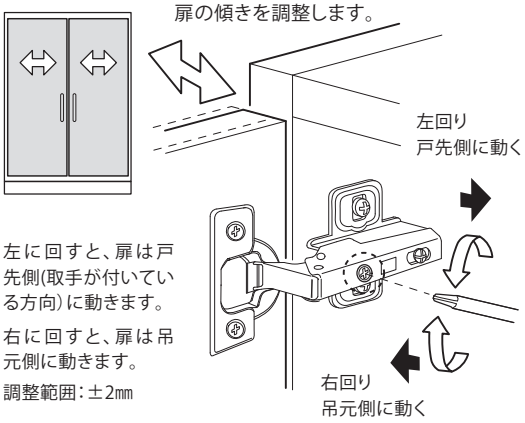
◆扉を調整する

1）前後調整　扉が閉まりきらない場合など、キャッチ力の調整効果があります。



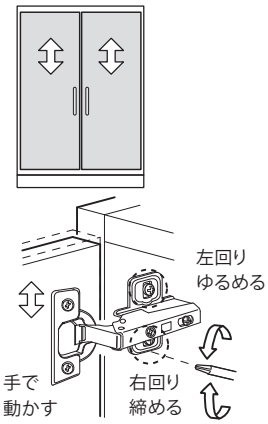
左に回してビスをゆるめ、扉を手で動かして、扉の前後を調整します。
調整後、右に回してビスを締め、しっかり固定します。

2）左右調整　扉同士のスキマや、扉の傾きを調整します。



左に回すと、扉は戸先側(取手が付いている方向)に動きます。
右に回すと、扉は吊元側に動きます。
調整範囲：±2㎜

3）上下調整

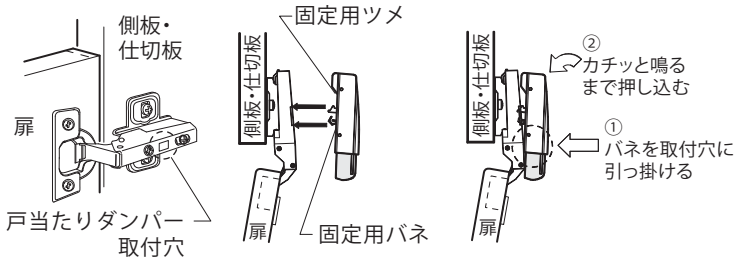


◆戸当たりダンパーの取り付け

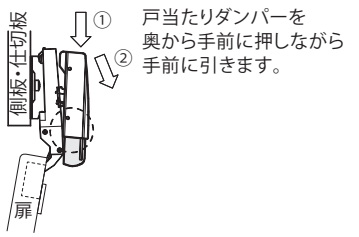
使用部品	戸当たりダンパー

1）各扉 1 個ずつ取り付けます。中央の蝶番への取り付けを推奨します。

2）蝶番の戸当りダンパー取付穴に、固定用ツメと固定用バネをそれぞれ合せてください。
その後、固定用バネを蝶番の取付穴に引っ掛け、
戸当たりダンパー後部をカチっと鳴るまで蝶番に押し込み、取り付けます。

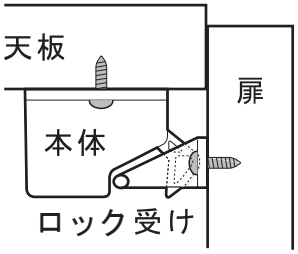


◆戸当たりダンパーの外し方



4-14 耐震ロック受けの作動確認

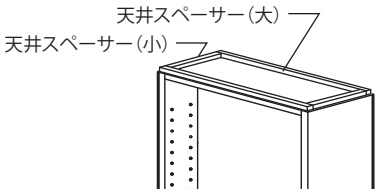
扉を手で開け閉めして、作動確認を行ってください。

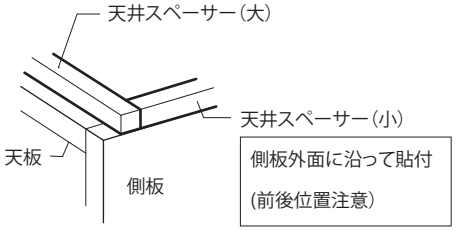


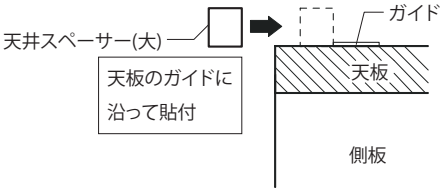
	不具合項目	対処方法
!	開閉の際 引っ掛かりがある	固定ネジを少しゆるめて、 本体またはロック受けの位置を調整する。
	扉が閉まらない	ロック受けの上下が正しいかどうかと確認し、 間違っていた場合は取り付け直す。
	※不具合が解消しない場合は、お手数ですがお問い合わせください	

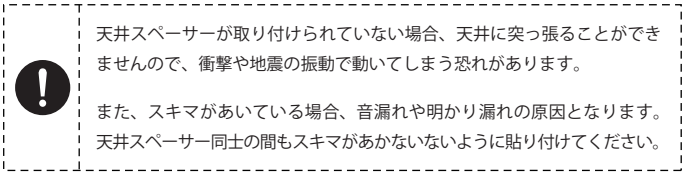
4-15 天井スペーサーを取り付ける

1）本体を可動状態にして天井との隙間を確保してください。
2）（大）→（小）の順に天井スペーサーを貼り付けてください。
3）設置位置で固定して問題なく天井につっぱることを確認してください。







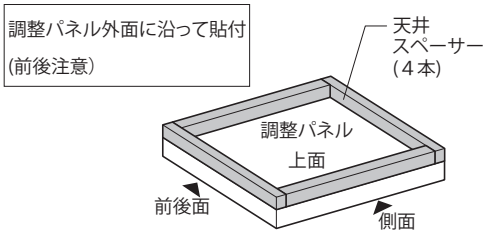


天井スペーサーが取り付けられていない場合、天井に突っ張ることができませんので、衝撃や地震の振動で動いてしまう恐れがあります。

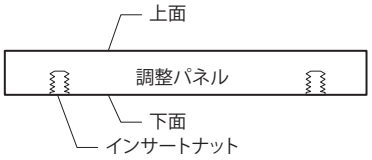
また、スキマがあいている場合、音漏れや明かり漏れの原因となります。天井スペーサー同士の間もスキマがあかないないように貼り付けてください。

調整パネル付きの場合

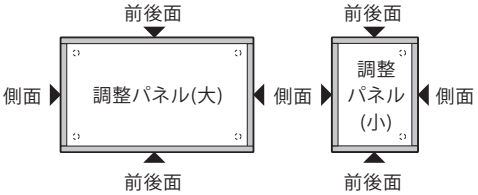
調整パネル上面に天井スペーサーを貼り付けます。



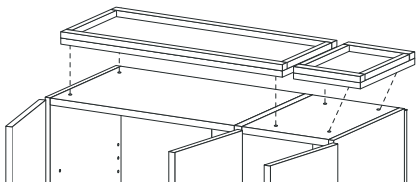
※ 調整パネルには、上下があり
ますのでご注意ください

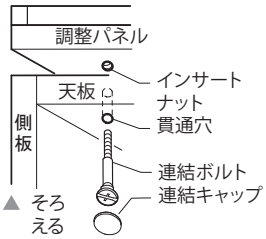


※ 調整パネルの方向と、天井スペーサー貼り方向



本体天板に直接調整パネルを取り付けます。



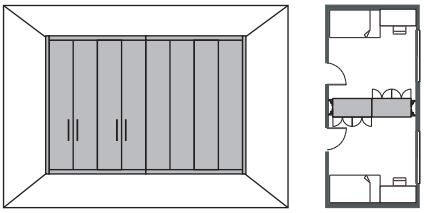


5 据え付け

はじめに
配置方法と配置用部品の確認

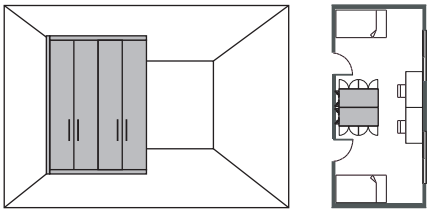
◆ 配置方法の種類

① 完全間仕切り



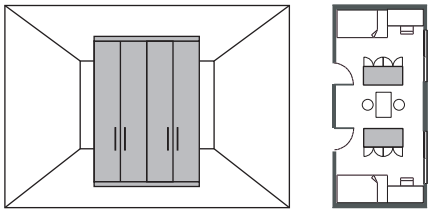
完全に間仕切りして２つの独立した個室をつくる。

② 半間仕切り



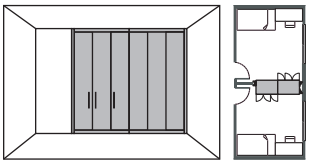
部分的に間仕切り。片側を壁に寄せ、片側をオープンにする。

③ 可動家具

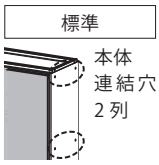


ゆるやかに間仕切り。収納ユニットの両側をオープンにする。

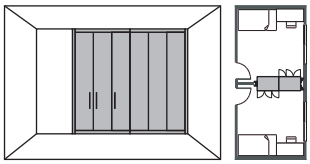
④ 完全間仕切り 袖壁納め



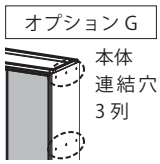
標準仕様で納める場合、収納を前後どちらかに寄せて配置する。



④ 完全間仕切り 袖壁納め (本体連結穴追加)

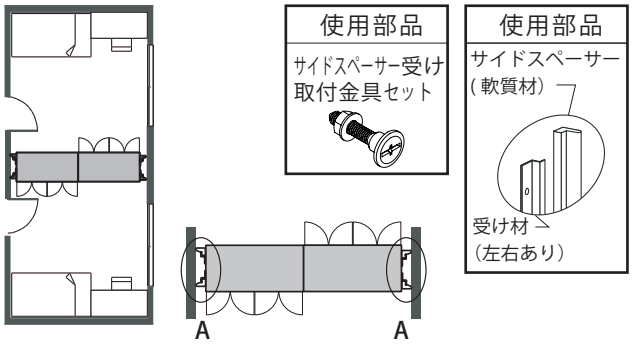


「オプションG」採用で、袖壁に対して収納をセンターに配置可能です。

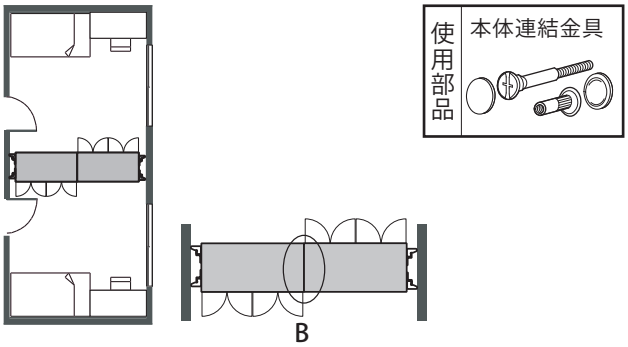


◆ 配置用部品の取り付け

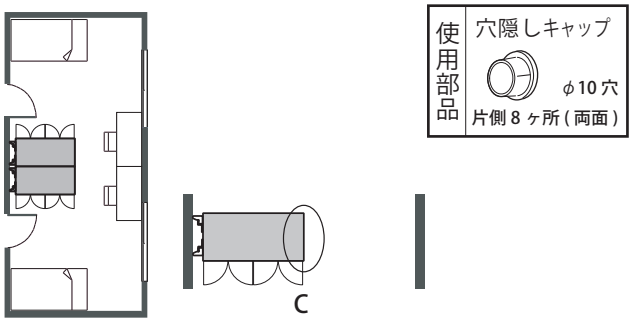
◎ A部：側面を壁にぴったり寄せる



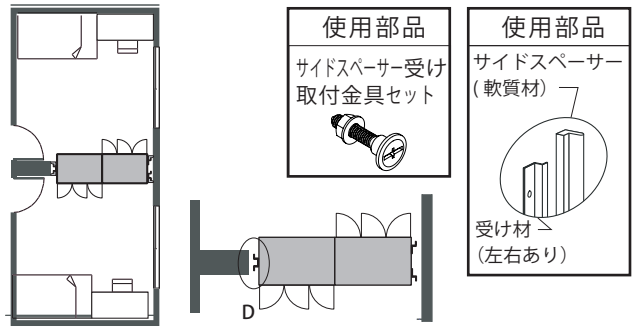
◎ B部：本体同士を連結する



◎ C部：側面オープン使い



◎ D部：袖壁・廻り縁に寄せる



A部・D部がある納まりの場合

5-1 サイドスペーサー受けを取り付ける

壁面側に来る側板の貫通穴にサイドスペーサー受けを固定します。
サイドスペーサー受けには、上下左右がありますので、ご注意ください。

使用部品

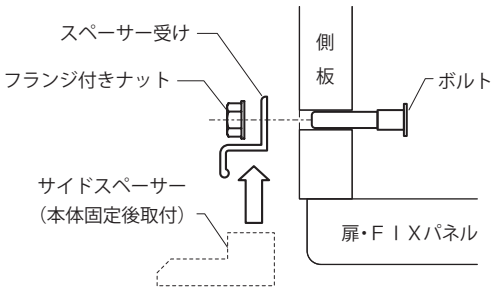
サイドスペーサー受け取付金具セット

使用部品

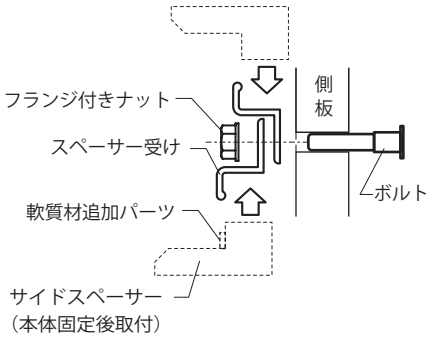
サイドスペーサー（軟質材）

受け材（左右あり）

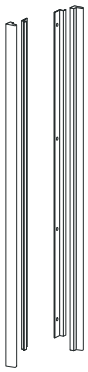
A部がある納まりの場合



D部がある納まりの場合



サイドスペーサーセット



サイドスペーサー（軟質材）

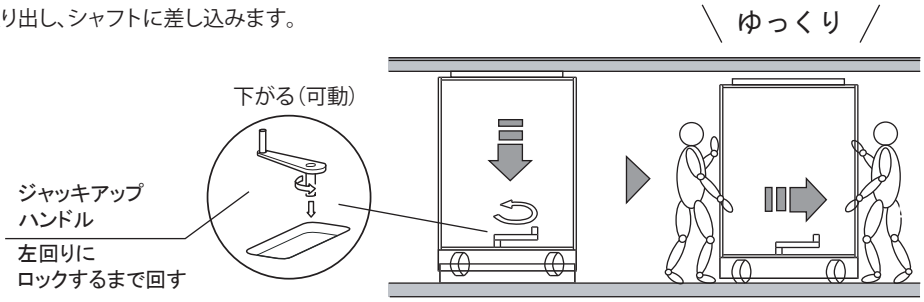
受け材（左右あり）

サイドスペーサー受け取付金具セット

※サイドスペーサーセットはオプションです。

5-2 配置場所に本体を移動する

ジャッキアップハンドル収納部のふたを開いてハンドルを取り出し、シャフトに差し込みます。

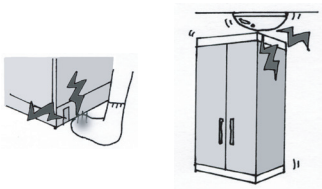


ハンドルを[左回りに回す]と、収納ユニットと天井の間にスキマがあき、キャスターが床面に接地して収納ユニットを動かすことができるようになります。

事故防止のため作業は２名以上で行ってください

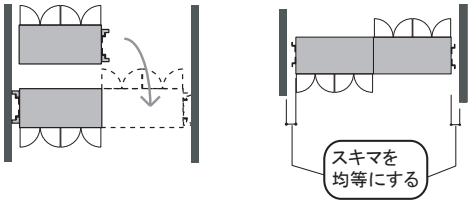
⚠ 注意

移動の際、手足をはさんだりしないよう十分ご注意ください。
また、収納ユニットと照明器具、感知器などがぶつからないよう注意しながらゆっくり動かしてください。



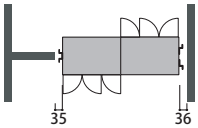
A部がある納まりの場合

収納ユニットを設置場所へ移動し、壁と収納ユニット側板とのスキマが左右均等になるように並べます。（設計スキマ幅各36mm）



D部がある納まりの場合

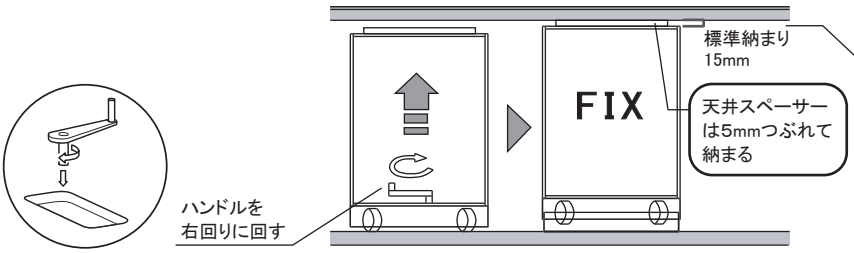
壁と収納ユニット側板とのスキマ幅が、袖壁側が35mm、壁面側が36mmになるように並べます。



※ サイドスペーサーをゲージ代わりに仮で取り付けると、均等に位置出ししやすくなります

5-3 本体を固定する

ジャッキアップハンドルを
[右回りに回す]と、収納ユニットと天井との間のスキマが狭くなり、
キャスターが床から離れて収納ユニットは固定されます。
ハンドルが止まるところまでまわしてください。



⚠ 注意

住宅の経年変化により天井の高さにバラツキがでる場合があります。
その場合、**ハンドルを最後までまわすと収納ユニットが天井を押し上げてしまう恐れがあります**のでご注意ください。

A部・D部がある納まりの場合

5-4 サイドスペーサーを取り付ける

壁面と側板の間に、サイドスペーサーを押し込み、寸法・形状を調整します。
幅木・廻縁の形状に合わせてカットすると、ぴったり納まります。

使用部品

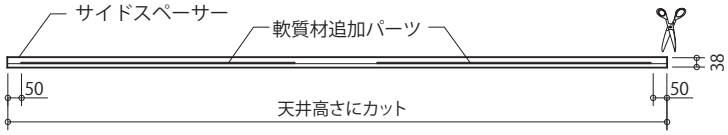
サイドスペーサー（軟質材）

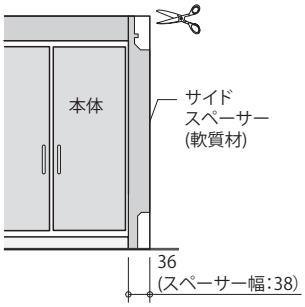
受け材（左右あり）

D部がある納まりの場合

※軟質材追加パーツをサイドスペーサーに貼り付けてから
サイドスペーサー受けに押し込んで隙間をふさいでください。

【軟質材追加パーツ取付位置】



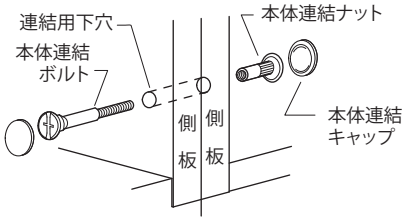


B部がある納まりの場合

5-5 本体同士を連結する

収納ユニット同士を並べて、スキマが気になる場合は
本体連結金具で収納ユニット同士を連結します。

使用部品　本体連結金具



連結したまま収納ユニットを昇降させると、**本体が破損する原因**となります。必ず連結金具を外してください。

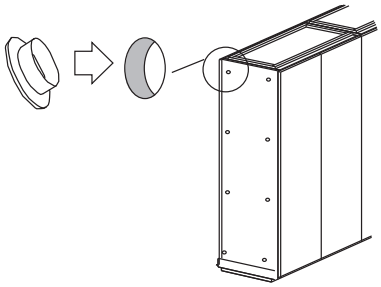
⚠注意

動かす時外す

C部がある納まりの場合

5-6 穴隠しキャップを取り付ける

本体側面がオープンのとき、
穴隠しキャップで本体連結穴をふさぎます。

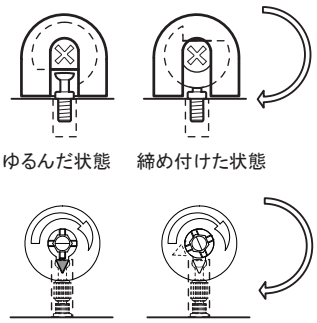


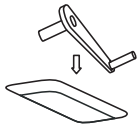
使用部品　穴隠しキャップ

φ10穴

片側8ヶ所（両面）

6 施工後の確認

	項目	詳細	チェック
1	組み立て部品が余っていない	取り付け忘れの恐れがあります。 施工後、余りがないかどうか確認し、全ての部品を取り付けてください。 ※ 使用しなかった配置用部品は、揃えてお客様にお渡しください。	□
2	仕切板・固定棚・天板の締付金具の締め忘れがない	施工説明書に記載されている通り、全ての締付金具が最後まで締め付けられているか確認し、ゆるんでいる場合は締め付けてください。  ゆるんだ状態　締め付けた状態	□
3	本体各部にガタツキや隙間がなく、しっかり固定されている	各部品の締め付けや、固定状態を確認し、ゆるんでいる場合は固定しなおしてください。	□
4	扉は正しく取り付けられ、開閉できる	扉同士が当たっている スキマがばらついている 扉が傾いている 扉が最後まで閉まらない ⇩ 11ページの調整方法に基づき、扉を調整してください。	□
		扉を動かすと蝶番が前後に動く ⇩ スライド蝶番がしっかり固定されているかどうか確認してください。	□
5	扉を閉めたとき、「バタン」という乾いた大きな音がしない	「戸当たり（フエルト）」「戸当たりダンパー」が取り付けられていない場合大きな音がします。 取り付け忘れた場合は、「戸当たり（フエルト）」「戸当たりダンパー」を取り付けてください。	□

	項目	詳細	チェック
6	ジャッキアップハンドルは所定の収納場所に戻されている	組み立ての際使用した、ジャッキアップハンドルは、所定の位置（地板の格納フタ内）に必ず戻してください。 	□
7	天井スペーサーが正しく取り付けられている （本体を固定した時、天井との間にスキマがあいていない）	天井スペーサーが取り付けられていない場合、天井に突っ張ることができませんので、衝撃や地震で動いてしまう恐れがあります。 「天井」と「天井スペーサー」との間、「天井スペーサー」同士の間にスキマがないかをご確認ください。	□
8	サイドスペーサーが正しく取り付けられている	天井高さや、幅木・廻り縁に合わせてカットし、「サイドスペーサー」と「天井」や「壁」との間にスキマがないかご確認ください。	□
9	製品に傷や欠け、塗装のはがれ等がない	全ての商品について傷や欠け、塗装の剥がれや汚れがないかどうかご確認ください。 万一の際は弊社までご相談ください。	□
10	お客様と打ち合わせた通りに「可動間仕切収納」が配置されている	正しい位置に配置されているかどうか、また、その配置方法に必要な配置用部品が正しく取り付けられているかをご確認ください。 特に、完全間仕切りで本体同士を連結する必要がある場合（例：隙間から明かりが漏れるとき）は本体を連結し、連結したことを必ずお客様にお伝えください。	□

GROUP AXIS アクシス株式会社

0120-348-225
（受付 9:00〜18:00 (休)日・祝）

E-mail：order@ce-fit.com

https://www.ce-fit.com
または キーワード セフィット で 検索

20210701